

第 11 回作業療法士協会学会プログラム

会長 中部労災病院 宮地昭郎

会場 愛知県中小企業センター

名古屋市市中村区堀内町 4 丁目 31

会期 昭和52年 6月 3日(金)・4日(土)

第 1 日 6月 3日 (金)

開会式 (9:00~9:30)

一般演題 1~5 (9:30~10:20)

座長 東京病院附属リハビリテーション学院 矢谷 令子

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------|------------|
| 1. 関節可動域テストの信頼性 | 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院 | ○宮 前 珠 子・他 |
| 2. MTM から見た動作テストの試み | 神奈川県総合リハセンター | ○嶋 田 豊 彦・他 |
| 3. 正常乳幼児におけるランドウ反射 | 東京都福祉センター | ○江 口 洋 子・他 |
| 4. ROM exercise が関節に及ぼす影響—生理学的立場より— | 自治医科大学附属病院 | ○篠 崎 直 子・他 |
| 5. 健常手の把握の様式 | 東京都老人総合研究所 | ○鎌 倉 矩 子・他 |

一般演題 6~10 (10:20~11:10)

座長 東京都福祉センター 江口 洋子

- | | | |
|--|------------------|------------|
| 6. 当科における在宅障害者に対するリハビリテーションサービスの試み (第2報) | 横浜市大病院リハ科 | ○永 原 美智子・他 |
| 7. 地域センターにおける OT—4年間を振り返って— | 荒川区立心身障害者福祉センター | ○小 倉 久 恵・他 |
| 8. 脳性まひ児 (CP 児) における手指の巧緻性と日常生活動作 (ADL) 及び
運動年齢 (MA) との関係について | 兵庫県立のじぎく園 | ○堀之内 知 子・他 |
| 9. ADL への FQ 活用の実証的検討 | 拓杏園 | ○秋 藤 一 夫・他 |
| 10. 股関節固定者の実態調査 | 兵庫県リハビリテーションセンター | ○清 宮 良 昭・他 |

一般演題 11~15 (11:10~12:00)

座長 横浜市大病院 生田 宗博

- | | | |
|----------------------------------|--------------|------------|
| 11. 手指の拘縮に対する Splint の応用とその効果 | 大阪大学医学部附属病院 | ○田 村 茂・他 |
| 12. 牽引副子に関する一経験 | 神奈川県総合リハセンター | ○原 和 子 |
| 13. RA 患者の頸部痛に対するソフトネックカラー装着の一考察 | 中伊豆温泉病院 | ○小 野 敏 子・他 |
| 14. 両上腕切断者の日常生活について | 国立身体障害センター | ○佐 藤 富美子・他 |
| 15. 当老人ホームの腰仙椎装具の試み | 四天王寺慈田院老人ホーム | ○松 下 起 士・他 |

特別講演 (13:00~15:00)

司会 名古屋保健衛生大学 柴田 澄江

「障害者の全人間的復権をめざして」—福祉と医療のかかわりの中で— 日本福祉大学教授 児島 美都子
日本社会事業協会会長

第 2 日 6月 4日 (土)

一般演題 16~18 (9:00~9:30)

座長 中部労災病院 宮地 昭郎

- | | | |
|---------------------------|---------------|------------|
| 16. 頸髄損傷患者の書字動作について | 水俣市立湯之見リハセンター | ○窪 田 正 伸・他 |
| 17. 脊髄損傷患者の退院後の生活状況と家屋の改造 | 星ヶ丘厚生年金病院 | ○小 西 京 子・他 |
| 18. 頸髄損傷患者の ADL テスト試案 | 国立療養所箱根病院 | ○古 内 文 夫・他 |

一般演題 19～23 (9:30～10:10)

座長 登別厚生年金病院 秋 元 久 実

19. 頸肩腕症候群患者の握力の検討
20. 強皮症の訓練の経験から
21. 分娩麻痺後遺症例の OT 治療経験
22. らいにおける作業療法の実際
23. 老人性痴呆に対するアプローチ

九州労災病院 ○中 山 豊 子・他
 虎の門病院分院 ○関 根 久 子・他
 兵庫県立のじぎく園 ○池 田 茂 美・他
 国立療養所多磨全生園リハ科 ○青 木 真由美
 熊本赤十字病院 ○奥 村 チカ子

一般演題 24～29 (10:10～11:10)

座長 日下部病院 富 岡 詔 子

24. 陳旧性分裂病患者のグループ療法
25. 分裂病者との接触について 症例と文献比較
26. 教育訓練的 OT の一具体例
27. 病棟 OT の意義
28. ハワイ州における精薄サービス
29. 精神分裂病者の就労と予後について

九州リハビリテーション大学校 ○大 丸 幸・他
 花園病院 ○関 京 子
 三重県立高茶屋病院 ○大 橋 博・他
 福岡病院 ○堤 智 子・他
 国立療養所東京病院 ○佐々木 光 子
 国立犀潟療養所 ○平 尾 一 幸・他

一般演題 30～34 (11:10～12:00)

座長 九州労災病院 米 倉 豊 子

30. 脳性マヒ者の職能適性—モダプツ法をとおして—
31. Parkinsonisms の交互反復動作改善に対する Isokinetic exercise の試み
32. RA の手関節の保護に関する一考察—生理学的・生体力学的検討から—
33. 老人の感覚統合能力について
34. 脳性まひ者（アテトーゼ型）の下肢動作機能

北海道立肢体不自由者訓練センター ○丸 谷 隆 明・他
 自治医科大学附属病院 ○津久井 まりゑ・他
 自治医科大学附属病院 ○篠 崎 直 子・他
 ○黒 岩 貞 枝
 東京都心身障害者福祉センター ○古 川 宏・他

バスセッション (13:00～16:30)

医療チームの中の OT—OT のあるべき姿を模索する—

司会 北林病院 鹿 島 清五郎

話題提供者

中部労災病院リハビリテーション診療部長 吉 田 一 郎
 自治医科大学事務部副部長 道 仏 繁 芳
 中部労災病院看護婦長 永 瀬 富美子
 中宮病院 OTR 時 武 治 雄

訂正・お詫び

本誌 11 巻 4 号 320 頁「第 11 回作業療法協会学会プログラム」の中，特別講演演者の児島美都子氏の肩書きに“日本社会事業協会会長”とあるのは“日本医療社会事業協会会長”の誤りでした．訂正し，お詫び申し上げます．

「理学療法と作業療法」編集室
